

# 新春を迎えて

## —各会派の抱負—

3名以上で構成される会派について新年の抱負を掲載しています。

各会派の構成については、最終面をご覧ください。

### 少子高齢社会を視野に

#### 暖かな政策を

練馬区議会自由民主党 (15人)

新年あけましておめでとうございます。昨年、練馬区独立60周年という記念すべき年にあたり、様々な事業を通して、区民の皆様とともにお祝いできましたことは喜びに堪えません。

さて、練馬区議会自由民主党は、志村区長とともに練馬区の更なる発展のため、委託化・民営化をはじめ、行政改革を推進しております。

本年もこの行政改革の成果をもとに、家庭で子育てをされている方々への支援策として、有償在宅サービスなどが利用できる無料利用券の配布や、平成19年度に実施した、いきいき健康事業の来年度の継続実施、また、障害者地域生活支援センターの増設、更には、夏の暑さ対策として、小中学校の普通教室と体育館へのエアコン設置などに取り組みまいります。

本年も、練馬区議会自由民主党は、区民の皆様のご目線に立って、区民福祉の充実に取り組んでまいります。

### 生活者のための

#### 区政実現を

練馬区議会公明党 (12人)

新年明けましておめでとうございます。昨年、練馬区議会公明党は、中学3年生までの医療費無料化、駅からはじまる花いっぱい運動の実施、ひとりぐらし高齢者宅への住宅用火災警報器の設置、区民防災会に階段用避難車を貸与、電気式生ごみ処理機等購入への助成、妊婦健診5回までの無料化など数多くの施策を区民の皆様のご支援のもと、実現することができました。私たちは、子育て支援、高齢者支援、安全・安心の更なる拡充を推進してまいります。

本年は、全区立小中学校へのエアコン設置、妊婦健診の完全無料化、放課後子どもプランの早期実現、高齢者いきいき健康券の利用拡大をはじめ、誰もが暮らしやすい練馬の実現を目指していく決意です。

今後とも、区民の皆様の声を区政に生かし、これからも生活者のための区政の前進に挑戦し、実現し続けてまいります。本年も区民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 真摯な活動で

#### ご期待にお応えします

民主党練馬クラブ (10人)

明けましておめでとうございます。

昨年は、区議会議員の改選において、区民の皆様の高い評価と期待を頂き、会派構成員が大幅に増えました。私たちはこれにお応えするため、従来にも増して強い責任感を持って、おこなうことなく、真摯な活動を続けてまいります。

さて、昨今は、「消えた年金」問題、薬害肝炎訴訟、防衛省問題など、「官」への信頼が大きく揺らいでいます。練馬区では、区民の信頼を得るため「区民との協働」を重視しておりますが、個々具体的には、いまだ積極的な情報公開と協働手法が確立できておりません。また、税や教育などの身近な課題も、依然、国が主導しているため、自治体の柔軟性が阻害され、区民の間に様々な格差が生じています。こうした閉塞状況を脱するため、私たち10名の議員団は、真の政策集団として、行政・議会の透明性を向上させ、的確な行政改革を内外に強く求めていく覚悟です。本年も、変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

### 巨額の黒字は

#### 区民生活優先の施策に

日本共産党練馬区議団 (6人)

新年明けましておめでとうございます。

昨年の参議院議員選挙では、大増税と社会保障の切り捨て、雇用の破壊という自民党、公明党が進めた「構造改革」路線と「戦争する国づくり」に明確な審判が示されました。史上空前の利益をあげている財界・大企業には減税を進め、国民には今後も消費税増税などを押しつける「財界・大企業言いなり」の政治と、軍拡をあおる「アメリカ言いなり」の政治の双方を大本から正さなければなりません。

いま、国民、住民の願いと運動が政治を大きく動かしています。障害者「自立」支援法の負担軽減と後期高齢者医療制度の中止・見直しを求める運動が政府を動かす、練馬区でも学校に空調機設置をすすめる決断をさせました。

日本共産党練馬区議団は、103億円余の財政黒字と貯め込んだ52億円の基金を使って、住民税増税から区民を守るための区独自の減税とともに、保育園委託化撤回など皆さんの切実な願いの実現のため、今年も全力で奮闘します。

### 生活者の視点で

#### 地域から平和を!

生活者ネットワーク (3人)

私達は生活の中の問題を政治に反映させようと、30年にわたり区議会に生活者の議席を得てきました。情報公開をすすめる、議会を区民に開くことは、私達の活動の原点であり、使命です。また、日額旅費を供託するなど「議員特権廃止」を自ら実行しています。

ますます広がる経済格差と展望のない社会の閉塞感に、高齢者は不安を募らせ、若者は希望を失っています。本来、政治が果たすべきセーフティネットづくりには、当事者の声が生かされるよう、力を尽くしていきます。

昨年来、防衛省の不祥事から戦争放棄の憲法に反して、再軍備の実態が、利権がらみで明らかになってきました。新テロ対策特措法は、自衛隊駐屯地が二つも在る練馬区では、住民の安全をおびやかす事態を招くでしょう。この街を迎撃ミサイル訓練の候補地にする計画にもきっぱり反対すべきです。今こそ、生活者に徹することで地域から平和を創り、自治の歩みを進めようと決意を新たにしています。



健やかカレンダー応募作品 (石神井西中学校 坂井慶哉)